

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊別
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		934,500千円	
年 効 用		76,828千円	
廃用損失額		7,933千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,495,550千円	
費用便益比	= ÷	1.60	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	27,102	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	46,111	草地及び農道の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
維持管理費節減効果	1,724	農道の整備に伴う維持管理費の節減
生産基盤保全効果	1,265	農道の更新による農業生産の維持
品質向上効果	626	農道の舗装により、砂塵の発生を軽減することによって生産物の品質が向上する効果 対象作物：牧草
計	76,828	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	摩周湖
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		955,550千円	
年 効 用		61,135千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		48年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0487	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,255,339千円	
費用便益比	= ÷	1.31	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	25,686	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜:牛
農業経営向上効果	35,449	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:牧草
計	61,135	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	白糠
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		724,500千円	
年 効 用		43,906千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	859,217千円	
費用便益比	= ÷	1.19	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	15,488	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	28,418	草地等の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計	43,906	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	計根別北
-----	------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		819,000千円	
年 効 用		67,081千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,300,019千円	
費用便益比	= ÷	1.59	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	25,382	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	41,699	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計	67,081	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	根室西
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		819,000千円	
年 効 用		47,651千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	947,336千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	16,106	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	31,545	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計	47,651	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	木地挽
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		285,600千円	
年 効 用		30,878千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0673	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	458,811千円	
費用便益比	= ÷	1.61	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	23,712	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	7,166	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計	30,878	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	芽室
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		367,500千円	
年 効 用		33,198千円	
廃 用 損 失 額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0677	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	490,369千円	
費用便益比	= ÷	1.33	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	20,563	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	12,635	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計	33,198	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	上幌呂
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		1,249,500千円	
年効用		79,028千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0620	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	1,274,645千円	
費用便益比	= ÷	1.02	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	19,321	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農業経営向上効果	53,469	草地及び農道の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
維持管理費節減効果	1,754	農道の整備に伴う維持管理費の節減
生産基盤保全効果	3,924	農道の更新による農業生産の維持
品質向上効果	560	農道の舗装により、砂塵の発生を軽減することによって生産物の品質が向上する効果 対象作物：牧草
計	79,028	



## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	ふらの
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		715,000千円	
年 効 用		87,438千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		19年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0861	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,015,540千円	
費用便益比	= ÷	1.42	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	87,438	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	87,438	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	美瑛
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,184,000千円	
年 効 用		102,156千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		21年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0712	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,434,775千円	
費用便益比	= ÷	1.21	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	102,156	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	102,156	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	興部
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,854,000千円	
年 効 用		169,481千円	
廃 用 損 失 額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0790	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,145,329千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加(公共牧場以外)	169,481	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	169,481	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	忠類
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		848,000千円	
年 効 用		90,675千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		15年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0899	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,008,621千円	
費用便益比	= ÷	1.19	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	90,675	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	90,675	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	茶内
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		730,000千円	
年 効 用		65,608千円	
廃 用 損 失 額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		22.0年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0692	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	948,092千円	
費用便益比	= ÷	1.30	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	20,922	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
畜産環境の保全・向上	44,686	家畜排せつ物処理施設等の整備による畜産環境の改善及び有機質たい肥等の活用
計	65,608	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	釧路阿寒
-----	------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,852,000千円	
年 効 用		363,882千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		13年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.1001	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,635,185千円	
費用便益比	= ÷	1.27	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	363,882	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	363,882	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	鶴居東部
-----	------------	-------	-----	-----	------

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,548,000千円	
年 効 用		219,015千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.1066	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,054,550千円	
費用便益比	= ÷	1.33	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	219,015	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	219,015	

## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	俵橋
-----	------------	-------	-----	-----	----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,240,000千円	
年 効 用		132,598千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		15年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0900	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,473,311千円	
費用便益比	= ÷	1.19	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	132,598	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	132,598	



## 費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中西別
-----	------------	-------	-----	-----	-----

### 1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,237,000千円	
年 効 用		108,328千円	
廃用損失額		0千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0655	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,653,863千円	
費用便益比	= ÷	1.34	

### 2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	108,328	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計	108,328	